

学校施設の改修等の時期と費用について

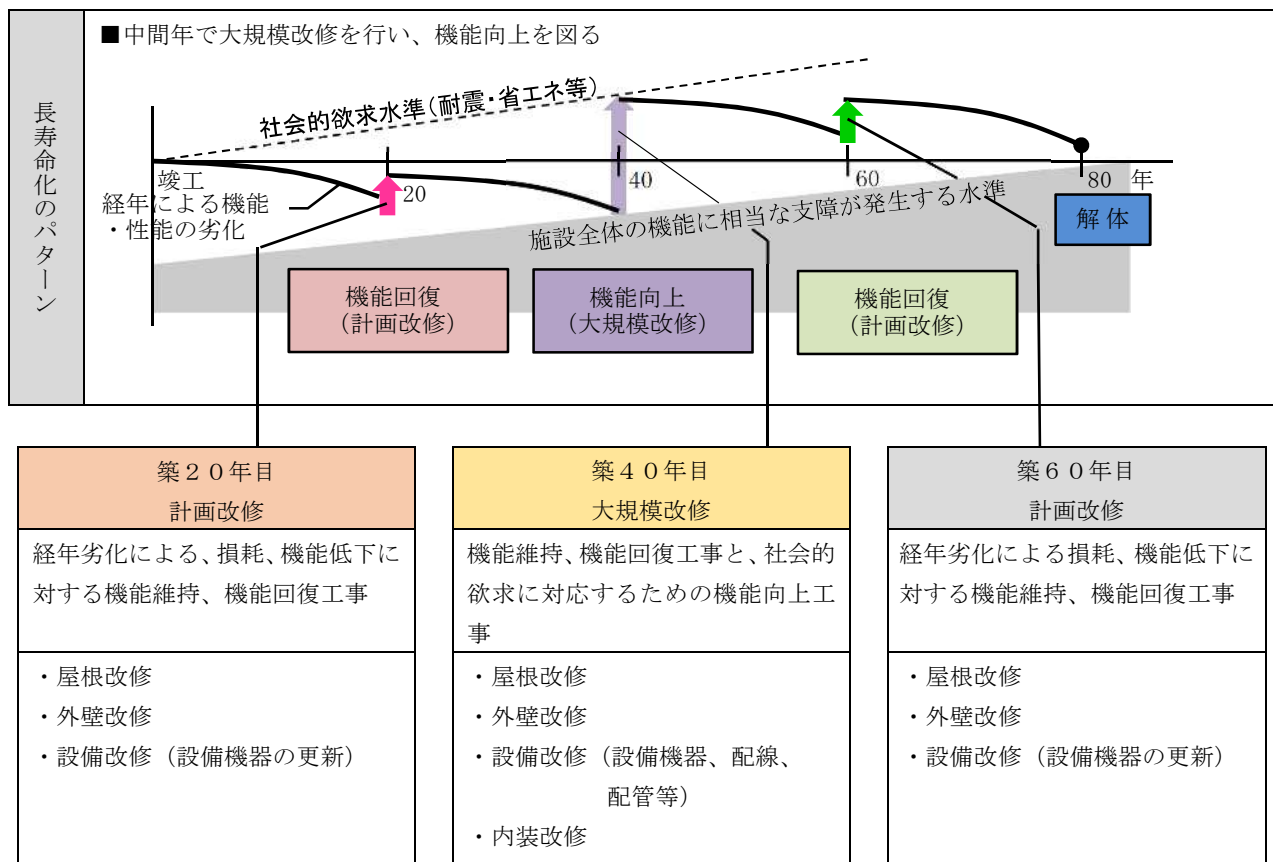
1. 学校施設の改修サイクル

平成 29 年 3 月に策定した「本庄市公共施設維持保全計画」において、本市の小・中学校における主要施設（校舎、体育館等）は長寿命化対象施設として、目標使用年数を 80 年に設定しています。

目標使用年数の 80 年に対して、築 20 年目および 60 年目に機能回復のため計画改修、築 40 年目に機能向上のための大規模改修を実施することを標準サイクルとしています。（下記イメージ図参照）

なお、実際に改修を実施する際は、過去の改修状況や建築基準法第 12 条に基づく定期点検等の各種法令に基づく点検結果による劣化状況を踏まえて計画することが必要です。

【長寿命化のための標準的な改修サイクル】



【参考】建築基準法第 12 条に基づく定期点検とは

一定の用途・規模を満たす公共建築物について、建築物、建築設備及び防火設備の劣化状況の定期点検（12 条点検）が義務づけられています。

建築物の管理者または委任を受けた者は、定期に一級建築士等の資格を有する者に、損傷・腐食・劣化等の点検をさせなければなりません。

2. 各学校施設の改修費用の見込み

本市では「本庄市公共施設維持保全計画」において、各公共施設の改修・更新費等の参考となる単価を設定していますが、近年、建築単価等の上昇が見られることから、現在、各公共施設の改修・更新等に要する費用の再試算をしています。

なお、令和5年1月時点における、今後30年間の各学校施設の改修・更新等に要する費用の試算結果については、下記のとおりです。

【試算結果】

小学校

学校名	主な竣工年	経過年数	大規模改修 予定年度	計画改修 予定年度	R5～R34における、 改修・更新費用の見込み
本庄東小学校	S60, 61	37年	R5～R9	R10～R14	32.1億円
本庄西小学校	S47, 53, 54	44年	R5～R9	R20～R24	30.0億円
藤田小学校	S46, 53	44年	R5～R9	R5～R9	17.0億円
仁手小学校	S48, 59	38年	R5～R9	R25～R29	9.8億円
旭小学校	S44, 46, 48	51年	R5～R9	R5～R9	31.4億円
北泉小学校	S47, 49, 62	48年	R5～R9	R5～R9	21.1億円
本庄南小学校	S45, 50, 56	47年	R5～R9	R5～R9	21.7億円
中央小学校	S54, 56, 57	43年	R5～R9	R25～R29	24.3億円
児玉小学校	S49, 50, 52	48年	R5～R9	R5～R9	18.8億円
金屋小学校	S61, H1, 7	36年	R20～R24	R5～R9	14.5億円
秋平小学校	S53, H4	30年	R10～R14	R5～R9	9.7億円
共和小学校	H1, 11	33年	R10～R14	R5～R9	15.1億円
合計					245.5億円

中学校

学校名	主な竣工年	経過年数	大規模改修 予定年度	計画改修 予定年度	R5～R34における、 改修・更新費用の見込み
本庄東中学校	H27	7年	R35～R39	R15～R19	11.8億円
本庄西中学校	S48, 57	40年	R5～R9	R20～R24	23.9億円
本庄南中学校	S57, 58, H7	40年	R5～R9	R20～R24	39.9億円
児玉中学校	H20, 21, 22	13年	R30～R34	R10～R14	38.2億円
合計					113.8億円

※「経過年数」は、各学校の最も古い校舎の竣工年に基づき計算しています。

※「改修予定年度」は、定期点検の結果や公共施設全体の見直しに伴い、実施年度に変更が発生する可能性があります。

※「改修・更新費用の見込み」は、令和5年1月時点の試算額であるため、社会情勢の影響により増減が発生する可能性があります。